

① 学習指導案

プログラム	No. No.05「地域カルタをつくろう」
単元名 (全 時間)	本宿のまちじまん ～本宿カルタでまちのよさを伝えよう～
学習のねらい 24時間	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの暮らす身近な地域（まち）を探検し、よい景観をつくっている色々な要素に気づかせ、自分たちのまちに愛着をもつ。 ・まち探検での取材を通して、自分で見つけた「まちのよさ」を発信すること、またその表現方法を学ぶ。
学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 社会科のまちたんけんの学習を振り返り、詳しく調べたり、取材したりしたい地域や人物を決める。 2 まちを取材する。 3 取材したことを基にカルタ（カレンダー）を作る。 4 梧桐ウィークで発表する。
参考資料 準備品 実施場所等	<ul style="list-style-type: none"> ・学区 教室 ・たんけんバック 取材メモ アイパット

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
6	<ul style="list-style-type: none"> ・たんけんの準備（社会科） ・まちたんけん（社会科） 	社会科の学習のめあてにそって活動する。安全に十分留意する。	意欲の意欲（観察） 課題設定能力（観察・メモ）
3	<ul style="list-style-type: none"> ・カルタ（カレンダー）作りの準備と計画 <p>※地域の方に活動のまとめを還元することを考え、カルタ作りをカレンダー作りに変更する</p>	<p>一般的なカルタの紹介を行う。ここで考えたいカルタの例を示す。まちたんけんの学習を基に、カレンダー作りに適した地域や人物、行事などを選ぶ。</p> <p>※カレンダー作りに変更</p>	課題設定能力（観察・メモ）

12	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集・取材 (カレンダーの原稿作成) 	<p>素材探しの目のつけどころを事前に説明しておく。事前に児童の目印になるものを書き入れた探検用地図を用意する。アイパットを準備する。途中で、地図で位置の確認をする。写真は、注目したものそのものとともに、場所全体が分かるものも撮るように話す。</p> <p>作成にあたり、児童全員が自分の心の風景を撮影する。 カレンダーの原稿は、町探検の写真を基に、班ごとに切り絵で作成する。</p>	<p>課題設定能力 (観察・メモ)</p> <p>表現力 (言語活動) 表現力 (作品)</p>
4 1	<ul style="list-style-type: none"> ・梧桐ウキークでの発表の準備 ・梧桐ウキーク (1月) 発表 	<p>国語科などで学習した、発表の際の言語能力を生かせるようにする。</p>	<p>表現力 (言語能力)</p>

② 事業実施報告書詳細

学校名 横浜市 本宿小学校

時間数	場所	概要	活動記録 (写真)	対象者の反応
	教室 (クラス) 駅周辺 左近山団地周辺 四季美台方面 浄性院方面 旭区役所 旭区南本所区消	<ul style="list-style-type: none"> ・たんけんの準備 (社会科) ・まちたんけん (社会科) 		

	防出張所 旭警察署 まどか工房			
	教室（クラス）	・カルタ（カレンダー）作りの準備と計画 「本宿のまちにじにをかけよう～カレンダープロジェクト～」 ※地域の方に活動のまとめを還元することを考え、カルタ作りをカレンダー作りに変更する。		カルタでは、地域の方と一緒に遊ぶことはできるが、「一緒に遊ぶ」では、学習の還元にはならないと考えた。
	教室（クラス）	・情報収集・取材（カレンダーの原稿作成）		自分の住むまちで心に残っている風景を写真に収める 何気ない風景でよい。自分なり視点でよい。
	体育館	・梧桐ウキークでの発表の準備 ・梧桐ウイーク（1月）発表		発表にあたっては、梧桐実行委員を立てて実行委員が運営にあたった。

③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <p>「本宿のまちにじにをかけよう～カレンダープロジェクト～」と命名し意識づけを行い、子ども達が主体的に活動できるようにした。写真撮影、切り絵の作成などを主体的に行うことができた。</p> <p>総合学習の発表会では、カレンダー贈呈式を企画し、町探検等でお世話になった地域の方々を招待し、カレンダーの贈呈式を行った。社会科の学習のまとめを総合学習の学習へつなげ、教科横断型の学習を展開することができた。</p>
<p>(2) 実施にあたり苦勞した点</p> <p>カレンダーの作成・編集にあたっての原稿作り 子ども達の心の風景を写した写真（子ども達が撮影）と町探検の様子を切り絵を原稿とした。</p>
<p>(3) 児童の反応</p> <p>出来上がったカレンダーは、児童・保護者・地域の方々に好評であった。</p>
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <p>前段でも触れたが、カレンダーの作成に大変苦勞したが、贈呈式を行うまでの一連のプロセスを通して、子ども達の成長を見取ることができた。学年としては結果に満足している</p>
<p>(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕</p> <p>一連の活動の流れをリセットすることなく、4年生でもブラッシュアップして継続していくことである。</p>